

モニターの

# アートに注目



今月のモニターさんは、越智里美香さんです。

越智さんは、自らの故郷である島地部を視察して、昔と今との違いを感じたようです。それは、地域での世代を超えた交流。今回は、地域のコミュニティに注目です。

## 地域のコミュニティを再生しよう！

本年度、市政モニターとして島地部を視察する機会をいたしました。

### 故郷を訪ねて：



現在、笠岡諸島の居住人口

就学や仕事の関係でここから離れてしばらくになりますが、私自身この大らかで自然豊かな島で育ちましたので、島に向かう船中、潮の香りを懐かしく感じました。でも、海からの潮の匂いはあの頃と同じでしたが、住民の人たちにお会いすることもほとんどなく閑散とした様子には寂しい思いもしました。

### 故郷を訪ねて：



現在、笠岡諸島の居住人口

就学や仕事の関係でここから離れてしばらくになりますが、私自身この大らかで自然豊かな島で育ちましたので、島に向かう船中、潮の香りを懐かしく感じました。でも、海からの潮の匂いはあの頃と

同じでしたが、住民の人たちにお会いすることもほとんどなく閑散とした様子には寂しい思いもしました。

4月現在」という数字が発表されています。

そういった状況の中、生まれ育った島を活性化させようと、家庭や家業を抱えながらも自分たちの手で作り上げ、そして活動なさっている皆さんのお話は大変感じ入るものがありました。

### 今の地域に足りないものは

しかしその反面、私が過ごした頃の、自然な地域交流・助け合いが少なくなってしまっている寂しい状況が察せられました。大人と子どもの触れ合う機会が、大変少ないようになりますし、以前は隣の子も自分の子も同じように叱り、また隣のお祖父さんも家のお祖母さんも同じようにいつも気を掛け合い、ということがごく普通でしたが、残念なことに現在では寡少のよう

### 「共創」という共通意識

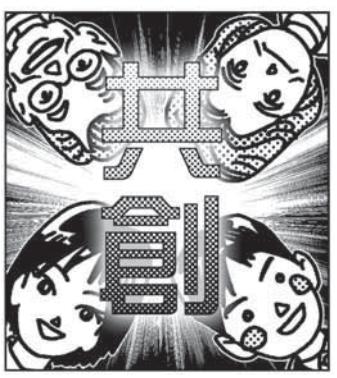


この島地部視察に前後して、「わがまちねつと」というネットワークが笠岡青年会議所を軸に構築されました。まち

づくりやボランティア活動を積極的に行う個人・団体が、行政に頼るだけではなく、一人ひとりがそれぞれの考え方で、お互いの情報を共有し、連携をとりやすい体制を構築

致仕方のないことだと思います。が、隣家でいた大くご飯の美味しさや、怖い怒鳴り声の温かさを、今の子どもたちは知り得ないのでしょうか。

現在、この『わがまちねつと』では、登録団体が開催されています。団体だけでなく個人でも登録できるというネットワークです。もっとたくさんの人が登録し、情報共有が活発になれば、一昔前のよう、地域ぐるみの助け合いで、地元住民の交流が少しずつでも戻ってくるかもしれません。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り：〒714-8601 笠岡市中央町一一

企画政策課モニター係

☎(69)2114

FAX(62)0228

全国では19・5%・平成17年